

## 図書館活動報告(2024年度)

### ビジネス支援サービスについて

日本政策金融公庫と協力しながら行っている月に1回の起業相談会は、泉大津市内での起業を視野に入れた相談が見られるようになりました。また、アイデアレベルで持ち込まれたビジネスレファレンスから起業への具体的な相談につながるなど、段階に応じたサービスの提供とビジネスライブラリアンによる確かな資料提供が形になってきているのではないかと考えます。商用データベースは、1,000件を超える利用や、コンスタントに利用する方がいらっしゃるなど、少しずつ認知されてきたようです。2025年度は、定期開催しているイベントと商用データベースを組み合わせた企画を予定しており、課題解決に商用データベースが使える体験をしていただきながら利用増を目指します。

### 学校支援サービスについて

今年度に入って先生方が取り組む事業について事前研修用の資料提供依頼が続いています。また、教育支援センターへの定期的な配送では、センターを利用する保護者向け資料提供の依頼があるなど、学校支援＝児童生徒への支援だけではなく、学校を通じた大人へのサービス(ビジネス支援サービス)へと広がってきました。これは、昨年度に開始した職員室へ先生向けの資料を提供するT-ホンパコの取り組みがきっかけであると考えています。

### 調べる学習コンクールについて

応募数が第1回の2部門29作品から、第2回目は5部門68作品へと増えました。7月から8月にかけて、[講座+調べる+まとめる]イベントを連続開催し、疑問に思ったことを図書館資料で調べる、その結果をまとめるという体験が多くの応募につながったと考えます。昨年度は3校6日間の出前授業による指導を市立図書館員が行いましたが、今年度は学校司書が指導する学校もあり持続可能な取り組みになっていることを感じています。

### 連携協定について

バイオフィリックデザインを取り入れた空間では、2023年に続き長崎大学大学院に調査に入っただき、その結果は論文での発表及び空気調和衛生工学会大会で報告されました。ネイチャーブレイクは、全国の公共図書館及び大学図書館に広がり始め、その詳細は農林水産省ホームページでもご覧いただくことができます。

アカデミック・リソース・ガイド株式会社との連携により取り組んでいる「デジタル情報カード」は、誌面や講演会、ワークショップ等を通じて全国に広がっています。

### 全国からの視察

3年間で34都道府県から視察に見えられ、昨年度は90団体1,113名の視察がありました。複数回視察に来られる団体や議員視察ののち同自治体職員の視察があったのが特徴的です。ビジネス支援サービスやこどもの居場所づくりについての内容が多く、当館のサービスや空間づくりが他地域で活かされることを楽しみにしています。